

これまでの歩みを振り返り、未来を見つめる

新桑名市誕生 20周年

旧桑名市、長島町、多度町が合併して新桑名市が誕生し20年という節目となる2024年。今月は、20年の歴史を振り返り、さらなる発展に向けての記念イベントや取り組みなどをご紹介します。

問 この記事については秘書広報課(☎24-1492 FAX 24-1119)

**市民会館
リニューアル
オープン**
現在の柿安シティホール。ユニバーサルデザインを基本方針として、誰もが使いやすい施設へとリニューアルしました。



新桑名市誕生

12月6日に、旧桑名市・長島町・多度町が合併し調印式が行われました。これにより、人口13万4856人、面積136.61キロ平方メートルの新桑名市が誕生しました。

2007年

2006年

2004年



「ながしま遊館」
オープン

将来に向けて子どもたちが心身ともに健全で情緒豊かに育つよう、郷土の文化や歴史にふれる機会を持つてもらおうと開館。保育所、図書館、ふれあい学習館などが併設されている複合施設です。

◆桑名市の20年の歩み◆

20年の間に起こった市内ニュースをピックアップ。当時を振り返ります。

02 キラリ★くわな人 ワールドレポート

03 **特集** これまでの歩みを振り返り、未来を見つめる
新桑名市誕生20周年

08 新桑名市誕生20周年記念シンポジウム
「徳川四天王 本多忠勝」
AFTER ほんぱく開催します!

10 国民保護について知っておこう

12 子育て広場
図書館・六華苑・博物館

14 メディカルニュース
くわな防災教室

15 人気の給食レシピ
みんなの掲示板

16 EVENT ALBUM(イベントアルバム)

18 くわな INFO

26 無料相談

27 多文化共生で活力を
市長まちなか探索

28 HAPPY BIRTHDAY
桑名のイトコ教えてください。

今月の表紙

桑名らしい写真をピックアップしました。1段目の左から石取祭、六華苑、ハマグリ、神馬の湯、七里の渡跡、なばなの里の写真です。



キラリ★
くわな人



ウイルキューブコーポレーション代表
台湾在住
馬岡 孝行さん

今回は、広報くわな3月号で掲載した桑名市出身で、現在は台湾で現地法人社長として活動されている馬岡さんに「台湾の食や街以外の視点として自然の魅力」をテーマに話を伺いました。
面積は九州より小さい島国でも、富士山より高い山(玉山)があったり、沖縄より南に位置することで深いコバルトブルーの海が広がったりしていると話す馬岡さん。さらに南部の夜空には、南十字星が見えるなど、日本人にとっては「感動」「驚き」の美しい大自然に満ち溢れているそうです。「山」の代表の玉山は、以前「新高山」とも呼ばれた場所で、標高3954mとほぼ4000m

級の山です。馬岡さんも一度だけ登頂経験があるそうで、「高さだけでなく、山麓のバナナなどのフルーツ畑から高度に従って次々と植物風景が変化するダイナミックなグラデーションも魅力の一つ」と教えてくれました。「海」が好きなのは澎湖諸島や小琉球、蘭嶼島などの離島もお薦めです。当然、青い海の下には多様な珊瑚礁や熱帯魚の世界も広がっています。また「空」への関心が高い人には、「空気の澄んだ場所」で夜空を待つことも楽しいと思います」とのこと。条件がそろえば、天の川や、日本では見ることのできない星座もはっきり捉えることができ、予想以上の天体ショーに感激されることでしょう。「大自然をキーワードとした台湾体験にも、ぜひお越し下さい」と話してくれました。



珊瑚礁の島、小琉球の海岸

世界をまたにかけて活躍している、桑名市出身者に各国の様子を教えてください。

ワールドレポート



◆20周年記念イベント◆

記念式典を開催

新桑名市誕生20周年記念式典を開催します。テーマは「みんなの『夢』が桑名の未来をつくる」。桑名吹奏楽団によるオープニング演奏や20周年の振り返りとこれからの桑名の映像放映を行います。エンディングは伊勢大神楽による演舞が予定されています。生配信も実施予定です。(一般参加者の募集は終了しています)

とき 12月6日(金) 10~12時ごろ
場所 柿安シティホール 大ホール



生配信はこちら



20周年記念和菓子「くわな」誕生

記念式典の参加者に配布予定の和菓子が桑名市菓子業組合メンバーにより製作されました。名前は「くわな」。新たな銘菓として広まっていくことが期待されています。バターが隠し味の焼菓子ですが、中にこしあんがたっぷり詰まっており、ふんわり、もっちりの新食感が魅力の和菓子です。



記念式典の後は各店舗で販売予定です。帰省土産や友人への手土産として、ぜひ「くわな」を贈ってください!

桑名市菓子業組合
組合長 相馬 泰夫さん



販売場所などの詳細は、桑名市菓子業組合 Instagramにて



記念和菓子ができるまで

生地を作る

まずは「何度も配合を変えて試作した」という生地づくりから。小麦粉、砂糖、蜂蜜や、ふんわりもっちり食感を生み出す「企業秘密の粉」を混ぜます。



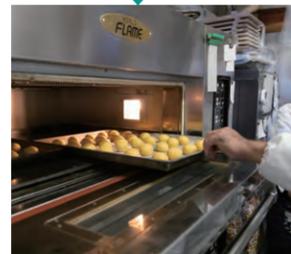
あんこを包む

こしあんを丸めたあんこ玉を、一晩寝かせた生地で包みます。その手際の良さにびっくり!みんなで包めばあっという間にできました。



オーブンで焼く

オーブンで20分ほど焼きます。約1.5倍に膨らむので、間隔を空けないとくっついてしまうそう。だんだんいい匂いがしてきました…。



和菓子作りに参加した桑名市菓子業組合の皆さん。5月ごろから何度も話し合いを重ね、これまでにない味をめざしました。

桑名時代まつり 出陣式

新桑名市誕生20周年を記念して、10月20日に桑名時代まつりが行われました。今年は大河ドラマ「真田丸」で本多忠勝を演じた藤岡弘さんと天翔愛さん、藤岡真威人さんをお招きして、本多忠勝や武士道への思いなど、藤岡ファミリーのトークショーが柿安シティホールで開催されました。その後に行われた忠勝・千姫時代行列では、総勢100人の参加者が、本多忠勝が造った町割りをめぐりました。



時代行列の途中では、くわな寺町通り商店街で千姫と忠刻を題材にした「千姫物語」の寸劇が披露されました。



柿安シティホールからくわな寺町通り商店街・春日神社を經由して柿安コミュニティパークまでめぐりました。



一般公募で集まった人々を含め、総勢100人の参加者が甲冑や着物姿で集まる様子は圧巻です。

未来に向けたメッセージ

「令和7年桑名市二十歳のつどい」実行委員会スタッフの皆さんに、メッセージをもらいました。

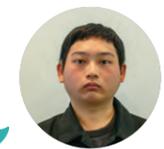


今桑名市の子どもたちの人口が、年々減少傾向にあるように感じます。これからの子どもたちが安心して、より暮らしやすい街を作りたいです。そして、その子どもたちが大人になった時に桑名市で暮らしていることが、誇れるようになってほしいと思います。

もりやま なつき
森山 菜月さん



未来の桑名はどうなっているだろうか、もっと住みやすい街になっているだろうか、桑名駅周辺にいろいろな種類のお店が増え、さらに自然と調和した街になってほしいなと思っています。桑名市のさらなる発展に期待しています。



かわつら たくみ
川面 拓己さん

私は、未来の桑名が一人一人にとっての居場所、または帰る場所であってほしいです。桑名に住み続ける人もそうでない人も「自分の居場所はここだ、ここなら安心して帰ることができる」と心の底から思える場所になってほしいです。



かねだ こうや
金田 紘弥さん

20歳という新たなスタート地点に立ちました。今後桑名市を出て活躍する人が増えていくと思います。そんな人々を、いつでも温かく迎え入れてくれる故郷であってほしい、頑張れると感じられる街であってほしいと願っています。



いとう ちづる
伊藤 千鶴さん

未来の桑名に望むことは今の桑名がずっと続くことです。発展し栄えることはもちろん良いことですが、それ以上に今の長閑で人の暖かさが何十年後も残り続けることを望みます。いつ戻ってきても懐かしさと居心地の良さを感じる街になってほしいです。



いとう りゅう
伊藤 琉宇さん